



# 高浜市 地域福祉計画



みんなで作ろう、  
心のひろば、支えあいのひろば

平成 15 年 3 月  
愛知県高浜市

# 「高浜市地域福祉計画」目次

高浜市地域福祉計画の策定にあたり	1
<b>【第1部】</b>	<b>2</b>
<b>第1章 地域福祉の計画活動</b>	<b>2</b>
1 基本理念づくり	2
(1) 地域福祉の理念	2
(2) 新社会福祉法の理念	4
(3) 高浜福祉からの理念	6
2 地域福祉の計画活動	8
(1) 住民主体の計画づくり	8
(2) 計画の位置付けと計画期間	12
(3) 社会福祉協議会の地域福祉活動	14
3 計画活動推進の3つの原則	15
(1) パートナーシップ型	15
(2) 次世代型	16
(3) 学習・情報発信型	17
4 計画活動を進める組織主体	19
(1) 3つの主体	19
(2) 「発表祭」	25
<b>第2章 地域福祉の目標と体系</b>	<b>26</b>
1 地域福祉の「活動ひろば」づくり	27
2 地域福祉サポートサービスの開発・利用	29
3 福祉でまちづくり	31
(体系図)	33
<b>【第2部】</b>	<b>34</b>
<b>第1章 地域福祉の「活動ひろば」づくり</b>	<b>34</b>
1 「支えあいひろば」	34
(1) ボランティアセンターの機能強化	34
(2) 当事者団体・セルフヘルプグループの育成・支援	38
2 事業者による地域福祉「福祉起業ひろば」	40
(1) 福祉起業・福祉事業展開への支援	42

(2) バリアフリー・ユニバーサルデザインの促進 .....	44
3 「世話やき活動ひろば」.....	46
(1) 新しい町内会活動・近所づきあい.....	46
(2) 地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員 .....	50
4 「心のバリアフリーひろば」.....	52
(1) 福祉教育の推進.....	52
(2) 地域での交流の推進.....	54
<b>第2章 地域福祉サポートサービスの開発・利用</b> .....	<b>56</b>
1 地域生活の3つの場づくり.....	56
(1) 地域での居場所づくり.....	58
(2) 地域での働き場づくり .....	60
(3) 地域での学び・遊びの場づくり .....	62
2 地域生活志向のケアマネジメント.....	64
(1) いきいき広場総合相談窓口の機能充実.....	64
(2) ケアマネジメントシステムの充実.....	66
(3) 緊急時のための地域生活支援サービス.....	68
3 当事者のエンパワメント.....	70
(1) 利用者と事業者の対等な関係づくり .....	70
(2) 新たな質の確保 .....	76
(3) 子どもとおとなのパートナーシップ.....	82
<b>第3章 福祉でまちづくり</b> .....	<b>84</b>
1 地域に暮らすためのまちづくり .....	84
(1) 居住福祉の推進.....	84
(2) 居住福祉条例の制定 .....	86
2 福祉活動法人との連携.....	88
(1) 社会福祉協議会との連携 .....	88
(2) 社会福祉法人・NPOとの連携.....	90
3 地域福祉推進ひろば.....	92
(1) 地域福祉推進ひろば.....	92
(2) 福祉まちづくり推進人材の育成 .....	96
4 福祉審議会の設置.....	98
(1) 福祉審議会の設置.....	98
<b>資料編</b> .....	<b>100</b>
(1) 名簿.....	100

①地域福祉計画策定委員会名簿 .....	100
②168人(ひろば)委員会グループリーダー名簿.....	101
③計画活動サポーター名簿.....	102
④地域福祉計画策定プロジェクトチーム名簿.....	103
(2) 計画策定までの経過(プロセス) .....	104
(3) 168人(ひろば)委員会実験事業の取り組み.....	106

## 高浜市地域福祉計画の策定にあたり

---

この高浜市地域福祉計画（以下「計画」という。）は、社会福祉法で平成15年4月からの施行が規定された「市町村地域福祉計画」のあり方を調査・研究するための全国7市町のモデル地域として、本市が全国社会福祉協議会から委託を受けて策定したモデル計画（平成14年2月策定）の内容を補強・充実し、策定したものです。

モデル計画は、全国社会福祉協議会が実施した「地域福祉計画に関する調査研究事業」の研究内容を踏まえ、本市の「168人（ひろば）委員会」からの意見を職種横断的な行政職員からなる「プロジェクトチーム」ができる限り吸収し、そのチームが自らの手で計画素案づくりを行い、モデル計画策定委員会での4回にわたる審議を経て策定されました。さらに、平成13年11月に報告した中間素案段階においては、モデル計画策定委員の手による住民向けの勉強会が行われるとともに、広報やホームページなどを活用して住民からの意見の公募（パブリックコメント）を行い、可能な限りその意見を反映しました。

また、モデル計画策定への住民参加手法としては、小・中学生及び高校生をはじめ、市職員も一個人として加わった「168人（ひろば）委員会」を立ち上げ、さらには、その委員会のグループリーダーである中学生も策定委員に加わるなど、思い切った独自の取り組みに挑戦しました。その体制を裏方で支える組織として、行政と社会福祉協議会の職員が一体となった「プロジェクトチーム」を発足し、両者でキャッチボールをしてきた成果が実ったものです。

このように、真の住民参画を経て策定されたモデル計画をもとに、平成14年度1年間をかけて「168人（ひろば）委員会」において検討し、さらに、パブリックコメントを実施し、その結果を反映させて策定したものがこの計画であり、本市においては、初めての行政と住民の協働作業による成果と言えるものになりました。

なお、計画策定に参画した「168人（ひろば）委員会」においては、計画策定後も明日の高浜市の地域福祉推進のため、また、福祉でまちづくりを進めるための自主グループとして、行政とパートナーシップのもとに活躍されることを期待します。